

# 富木島

【第259号】

発行 R4. 11. 4  
東海市立富木島小学校  
TEL 052-601-5311  
ホームページ



富木島小

検索



## 「実りの秋」の11月に



10月28日(金)、秋晴れの青空のもと「校内運動会」を実施できました。  
新型コロナウイルス感染症の影響により、ペア学年での3部構成にして3年目。今年度は感染状況の広がりあまり見られない状況でしたので、参観について人数制限を設けませんでした。保護者の皆様、地域の皆様からのご配慮、ご協力により無事、終わることができました。誠にありがとうございました。



総合開会式は、多目的室を発信ベースとして校内でのオンラインのみでの実施であったため、保護者の皆様にはご参観をいただけませんでした。ここでの児童会長のあいさつがふきしまっ子みんなへのとても温かなものでしたので、ぜひ、紹介させていただきたいと思えます。



【児童会長あいさつのようす】

今日は待ちに待った運動会です！

1年生は、小学校ではじめての運動会ですね。小学校でのがんばりをぜひ見てもらいましょう。

2年生は、2回目の運動会です。去年よりも成長した姿を見てもらえるようにがんばりましょう。

3年生は、来年からは上級生として来年の3年生に教える立場になります。今年は1・2年生のお手本となり、来年素敵な4年生になれるようにがんばりましょう。

4年生は、上級生として初めての運動会です。上級生としての姿を発揮できるようにがんばりましょう。

5年生は、高学年となり、成長した姿を見てもらえるようにがんばりましょう。林間学習で学んだことも発揮し、ペアの子と一緒に全力で楽しんでください。

6年生は小学校最後の運動会です。練習の成果を発揮し、よい思い出になるように全力で楽しみましょう。

今年も全学年で運動会を行うことはできませんでしたが、ペア運動会だからこそできることもたくさんあります！どの学年もペアとの絆を深め、全力で取り組み、一人ひとりのよい思い出になるように楽しみましょう。



「がんばれ!!」の数だけ仲間がいる～仲間と協力！目指せ優勝!!～

仲間と協力しながら、自分自身に優勝できるような運動会にしましょう!!!

「自分自身に優勝できる」という言葉に、この運動会を通して、みんなで成長していこうという思いの強さも感じました。



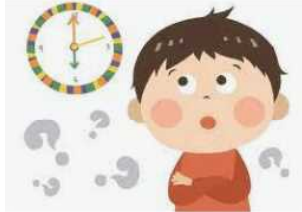
運動会を終えた後の最初の登校日が10月31日(月)でした。月曜日の朝は、休み明けでなかなかエンジンがかからず「いつもの元気はどうしたのかな」と感じられることが多いのですが、この日は元気なあいさつがたくさんありました。運動会の準備・練習期間や当日の活動を通して、自分の成長やがんばりを褒めることができたことの表れであればとても嬉しく思います。  
(裏面へ続きます)

運動会を終えて、次へと歩みを進めるふきしまっ子たちに10月31日(月)の朝会で、次のような話をしました。

先週金曜日の運動会、しっかり自分で自分のことを褒めることはできましたか。

これからも、行事を一つ終える度に「自分の成長の手応え」を感じられるように、行事を迎えるまでの準備活動や当日の活動にエネルギーを使ってってください。

明日から11月です。11月のことを旧暦では「霜月」と言います。「霜」がおりるほど寒くなる頃で、一気に寒さが増します。それから日が沈むのが早くなって、夕方の5時にはすっかり暗くなっていく時期です。



日が沈んで暗い時間が長くなる期間はお家で過ごす時間が長くなり、【自分で時間の使い方を考えて、実行する】とてもよい時期になります。運動会へ向けて挑戦を繰り返して、「自分で」や「自分から」の『自立の力』を高めることをみんなには意識してもらいましたが、11月はぜひ、時間の使い方を意識して行動することを繰り返して自分をコントロールする『自律の力』を高めることに取り組んでみてください。

秋の深まるこの時期には「〇〇の秋」という言葉をよく耳にしますが、時間を上手に使ってお家で「読書の秋」や「学びの秋」にしていきましょう。

また、学校では朝放課・大放課・昼放課・体育の時間を上手に使って、体を積極的に動かして、心も頭も体も健やかにする「スポーツの秋」も意識してみてくださいね。

この11月を「実りの秋」にしていきましょう。

ぜひ、ご家庭でもご家族で様々な「実りの秋」について話題にしてみてください。

今月は2年生と6年生で「学習発表会」、1年生と3年生で「給食試食会」、「公民館祭り」で5・6年生の有志の「伝統芸能発表」などが行われます。よろしくお願いいたします。

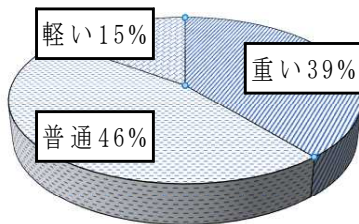
## 学校の持ち物について(児童会の取り組み)



これまで、学校と家庭の間を往復する学用品(教科書・ノート等)について、その「重さ」から様々な声をいただいております。それについてお知らせ・説明をしまいましたが、まだまだ十分ではなく、前期児童会役員が「持ち物の持ち帰り」について校長・教頭との話し合いをもつなど積極的な取り組みをしてきました。

実際に児童会では「持ち物の持ち帰り」について児童アンケートをとるなどして、より実態にあった、みんなのためになる「持ち物の持ち帰り」のルールにしていきたい、と活動を展開してきました。児童会の行ったアンケートの結果(1学期に実施)をお知らせします。

### 登下校中のランドセルは重いですか。



### 持ち帰っている教科書やノートを家庭学習で使っていますか。

○使っている人の割合

- ・教科書 → 国語46% 算数35% 社会17% 理科11%
- ・ノート → 国語12% 算数21% 社会13% 理科6%

☆PTA役員さん全員からは「ランドセルが重そう」という声をいただいています。

また、学校に教科書やノートを全部置いておいてよいとすると…次のような声がありました。

メリット: 体の負担が減る・忘れ物が減る

デメリット: 家庭学習で必要なものまで置いてくるのではないかと心配

児童会の取り組み等を通して持ち物については「国語・算数の教科書は必ず持ち帰る(1・2年生は国語ノート・算数ノートも持ち帰る)」として確認し、実施しているところです。大切なことは「自分の家庭学習で必要となるものを自分で判断して持ち帰ることができるようになること(日によって持ち帰るものが変わるのも当然のこと)」で、個に応じた対応ができることと考えています。



今後、児童会役員会やPTA常任委員会で意見交換を重ね、ふきしまっ子たちが安心して「持ち物の持ち帰りの基本的な考え方はこれだよ」と言えるものをより明確に示していきたいと思います。よろしくお願いいたします。